



2023年

3月

中国四国農政局
山口県拠点

女性が活躍できる持続可能な農業を目指す！

～株式会社エスケイサービスの取組～

農業の担い手不足が顕著になっている今、今後の農業の持続的な発展や地域経済の活性化のために、女性や若者がそれぞれ個性を活かして力を発揮できるようにすることが不可欠です。今回は女性中心の農業経営を進め、先日開催された農業女子アワード2022「ベストグループ賞部門」でファイナリストとなった下関市の株式会社エスケイサービスの小早川さえ子代表を取材しました！

耕作放棄地を1から整備！ 険しかった栽培開始までの道のり

同社は2006年2月に山口県下関市にて女性5名で農作業（接木や刺し芽など）の受託業務からスタートし、2014年に法人化しました。2019年7月には女性を中心とした農業の実現を目指し、農業部を山陽小野田市で立ち上げ、アスパラガスの自社生産をスタートされました。

就農予定地に選んだ場所は当時は耕作放棄地となっており、栽培を開始するまで毎日大量のゴミを集め、地道に草刈りを行いました。1年近い時間をかけようやく栽培開始に至りましたが、小早川代表曰く「創業して今まででこの時期が1番辛かった」とのこと。

また、農業の経験が全くなかったため、栽培開始の準備と並行して行政の方から指導を受けたり、研修に参加しながら地道にノウハウも身につけました。現在はアスパラガス以外にもイモ苗、さつまいも等の生産も行っています。また、現在の従業員28名のうち26名が女性となっており、目標とされていた女性を中心とした農業を実現しています。

今回お話を伺ったのは



株式会社エスケイサービス
代表取締役 小早川 さえ子様

会社概要

法人名：株式会社エスケイサービス
本社所在地：山口県下関市
創業：2006年2月
設立：2014年7月
従業員：28名（内、女性26名（パート含む））
生産品目：アスパラガス、イモ苗、さつまいも等
生産規模：農地30,000㎡、ビニールハウス25棟

※数字は全て2022年12月現在

女性活躍の秘訣！ 女性の働きやすい職場づくり

担い手不足が問題となっている今、なぜここまで女性の雇用を拡大・維持することができるのか小早川代表に伺ったところ「働きやすい環境の整備と、人と人とのつながりが大きいのではないか」との回答をいただきました。

実際、ほ場からトイレまでの距離が遠かったり、着替えをする場所がないといった問題を解決するため、国の事業を活用し女性用仮設トイレや更衣室等を整備し職場環境を改善されている他、毎年必ず代表自ら従業員1人1人と面談も行っています。

作業面では収穫をサポートするスマート農機等も導入し、作業の負担を軽減しています。そうした「今いる従業員を大切にする姿勢」が従業員の満足に繋がり、ロコミ等で女性従業員が増えているそうです。

<裏面に続く>

“もったいない”から生まれた発想 6次産業化への挑戦！

そんな同社が数年前から力を入れているのが6次産業化です。きっかけは「規格外品」への疑問でした。味は正規出荷のものと同じにも関わらず、少し曲がっていたり、見た目が悪いという理由だけで大切に育てた野菜が廃棄となってしまう現実に疑問を感じ、廃棄品の有効活用としてアスパラガスを使用した6次産業化に挑戦することを決意しました。ジャム、ペースト、プリン等、加工品の候補を模索して完成したのが、後に大ヒット商品となるアスパラドレッシングです。最初は思うような味が表現できなかったものの、何度も試行錯誤を重ね、構想から1年以上かけて発売へと辿りつきました。

現在ではサービスエリアや道の駅などを中心に販売されており、売上としての貢献だけでなく、企業としての知名度やブランド力、従業員のやりがい、モチベーションアップにも繋がっています。先日、開催された農業女子アワード2022では惜しくもグランプリは逃しましたが、女性目線での商品開発・販売は審査員に高く評価されました。



アスパラドレッシングは累計販売数
9,000本を越えるヒット商品
(写真は第2弾として発売された焙煎
ごま味)

農家が儲かるビジネスモデルを！ 今後のビジョン

最後に小早川代表に今後の目標やビジョンをお伺いすると「農家が儲かる仕組みを体現し、自社の発展だけでなく農業経営のロールモデルとなることが目標」と語っていただきました。他のサービスや商品と比べ価格転嫁が難しいとされる一次産業だからこそ、生産者の努力が報われるように生産や販路について更に検討を進めるとのこと。

女性を中心とした持続可能な農業の実現を目指す同社の活躍に注目が集まります。



今後も女性を中心とした持続可能な農業の実現を目指します！

株式会社エスケイサービス <https://skservice-yamaguchi.com/> (外部リンク)

農業女子アワード2022 https://myfarm.co.jp/women/nougyoujoshi_award2022/ (外部リンク)



令和5年春の農作業安全運動を展開します！



近年、農業就業人口が減少する中、農作業死亡事故者数は年間300人前後で推移している状況であることから、農作業における安全対策の強化を図る必要があります。このため、農林水産省では春作業が行われる3～5月を重点期間として、春の農作業安全確認運動を実施します。

今回の重点推進テーマは『徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策』となっておりますので、事故防止や被害軽減を意識した行動をお願いします。

農作業安全対策について(農林水産省HP)

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-0088 山口市中河原町6-16 山口地方合同庁舎1号館3階

TEL (083)922-5404 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>